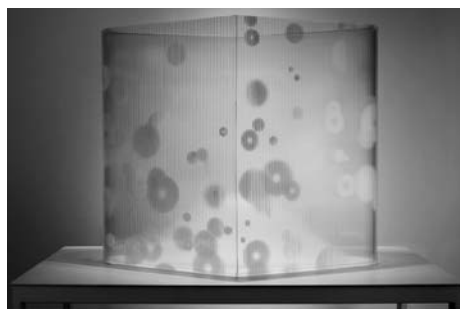


館長のガラストーク

光りのおにごっこー宮尾洋輔と富樫葉子のガラスアート展

富樫さんは、板ガラスの表面に凹凸状(カマボコ状)の溝をつけることにより、ガラスの裏側に描かれた絵柄が見る角度によって変化して見えるという「ガラスフォログラム」の技法を開発しました。「深々」というタイトルを持つこの作品は、溝を刻んだ板ガラスをV字型に折り曲げたものを2枚作り、中央で合わせてひし形の立体にしています。中に中央が盛り上がった小山のような形のパーツが入っていて、外から見ると雪山のように盛り上がっているのがうっすらと透けて見えます。



富樫葉子「深々」

ガラス板の裏側には、大小さまざまな同心円が白い顔料で描かれています。作品の前を左右に動くと、この円が様々な動きを見せます。富樫さんによると、これは幼い時に見た、深々と降り続ける雪なのだそうです。

凍てつく大気の中、空の高みから静かに舞い落ちてくる雪のイメージ。それは富樫さんの心の中に、幼い頃の北国の寒さの記憶としてだけでなく、郷愁に満ちた暖かな記憶としても存在しているようです。

妖精の森ガラス美術館 館長 畠山 耕造

＜展覧会情報＞冬期企画展 光りのおにごっこー宮尾洋輔と富樫葉子のガラスアート展 2013年11月27日(水)～2014年3月31日(月)

お問い合わせ先 妖精の森ガラス美術館 電話 (0868) 44-7888



みまさかのくに

美作国建国1300年



美作国キャラクター
「かたみくん」

美作国建国1300年記念事業 閉幕セレモニーの観覧者募集

美作国建国1300年記念事業実行委員会では、美作地域10市町村などの加盟団体、地域住民、来賓等が参加して、記念事業の閉幕セレモニーを開催します。

本セレモニーは、1400年に向けての新たなスタート、始まりとして、各地域の次代を担う子ども達のパフォーマンスにより、郷土の素晴らしさを表現し、ふるさとへの誇りと自信につなげることを図るものです。

- (1) 日時 平成26年3月21日(金・春分の日)
10時～12時(開場 9時30分)
- (2) 場所 勝山文化センター
(真庭市勝山319)
- (3) プログラム
・オープニング 記録映像上映
・主催者あいさつ
・子ども達からのメッセージ
・美作地域10市町村の子ども達が創作ダンスや演奏などのパフォーマンスを通して美作国の魅力を伝える
・誓い宣言(建国1400年に向けて)
- (4) 定員 700名
- (5) 参加費 無料
- (6) 申込み方法 電話、FAXまたはEmailで事務局まで次の内容をお申し出ください。

- (7) 申込み締切 平成26年2月28日(金)
- (8) 申込み先 美作国建国1300年記念事業実行委員会事務局

「みんなで学ぶふるさと美作のあゆみ」の刊行に寄せてNo.2



民俗学者
神崎 宣武氏

本書を手にした小中学生、高校生の皆さん。この本には、皆さんのご先祖様の歩みが書かれています。一人一人のお名前はでていなくても、その誰か一人でも欠けていたら、皆さんは存在しないのです。歴史をふりかえって、ご先祖様とともに「美作人の誇り」を共有してください。そして、また、後輩たちにも語り継いでくださるよう期待しています。



女優
元宝塚歌劇団
桜乃 彩音氏

美作国建国1300年おめでとうございます。この本を読み、美作地方の歴史と文化の豊かさに圧倒されました。美和山古墳群という有名な史跡は、子供の頃よく訪れた思い出の場所です。この本がたくさんの方々の目に触れ、故郷への誇りと愛着が深まることを願っています。

◆お問い合わせ先

〒708-0052 岡山県津山市田町3715
美作国建国1300年記念事業実行委員会
電話(0868) 44-7888 FAX(0868) 44-7889
E-mail: info@minasakal300.org
http://www.minasakal300.org/